

：労働時間の削減で働き方改革にも貢献

MCCatalog+を使っている情報発信は、
コロナ禍のような状況では特に意義があるように思います。

岩ヶ谷氏 もし紙でしか園だよりを渡せなかったとすると、「明日は
コロナのため休園します」といった情報をタイムリーに届けられま
せん。その点、Catalog Pocketはタイムリーに、しかも対面すること
なく情報を伝えられ、大きなメリットを感じています。

最後に今後の展望をお聞かせください。

森川氏 MCCatalog+の本格導入は、慎重に検討しました。でもこち
らが慎重になり過ぎていると感じるくらい、保護者の方は使いこなして
らっしゃいます。「Catalog Pocketだけでいいのに」と話してくださる
保護者もいて、有り難い限りです。ただ、なかには不慣れな人もいらっ
しゃるので、いままでは紙とCatalog Pocketを併用していました。
ですが、2022年4月からは毎月250部発行していた印刷部数を大幅
に減らし、Catalog Pocketをメインに使用してまいります。園だよりを
ずっと保管されている方のために、しばらくは数部発行しますが、この
移行によってコストや紙資源をかなり削減できるでしょう。
また印刷や製本の時間がかかなり圧縮できるため、空いた時間をミー
ティングや子ども対応、先生の休息などに充てられます。Catalog
Pocketの伝わり方には十分満足していますので、今後は働き方を
意識した活用をしたいですね。そして最終的には、国から補助金が出る
くらいまでMCCatalog+が充実し、熟成することを願っています。



保護者に好評なCatalog Pocketの機能 | スライドショー



学校法人みのり学園 認定こども園みのり幼稚園

おたよりやお知らせを外国籍の保護者にも翻訳配信
業務負担も印刷費も軽減するデジタルツール

静岡県牧之原市に園舎を構える、認定こども園みのり幼稚園。園長の森川道晃先生は、高い志を持って教育
に取り組むとともに、SDGsを意識し、多様性を受け入れた豊かな社会の実現も目指されています。
園児・児童のうち約1割が外国籍という状況のなか、必要な情報を外国籍の保護者にもしっかり届ける
難しさを感じていました。そうしたときに出会ったのが、多言語翻訳など多彩な機能を備えた
「MCCatalog+」とその専用ビューア「Catalog Pocket」です。現場で指導する岩ヶ谷先生を交え、仕組みを
利用するメリットや保護者の反応などを伺いました。



学校法人みのり学園
認定こども園みのり幼稚園

〒421-0421 静岡県牧之原市細江812-2
TEL:0548-22-0606 FAX:0548-22-0626
<https://minoriyouchien.ed.jp/>

本製品に関する情報は www.mccatalog.jp

●本カタログに記載されている会社名および商品名・ロゴは、各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

NO COPY 無断コピーは違法です！
一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会
モリサワ製品の不正コピーなど、違法行為にお気づきの方は
(一社)コンピュータソフトウェア著作権協会 (Tel:03-5976-5178)までご連絡ください。

- 株式会社モリサワ
- 本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel:06-6649-2151
 - 東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel:03-3267-1231
 - 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel:022-296-0421
 - 名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel:052-201-2341
 - 札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6 サウスシティ2F Tel:011-700-0112
 - 福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel:092-411-5875
 - 鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町11-3 下田平ビル2F Tel:099-252-2255
 - 浜松開発室 〒434-0038 浜松市浜北区貴布祢34-2 遠鉄浜北ビル2F Tel:053-424-7707





認定こども園みのり幼稚園
園長 森川 道晃 氏

：国籍が多彩な保護者へいかに情報を届けるか

認定こども園であるみのり幼稚園さんが、園を運営するうえで大切にされていることをお聞かせください。

森川氏 0歳から就学前のお子さんをお預かりしている私たちは、「どんなはなにならうかな」を掲げ、子どもたちが将来「好きな花」になれるよう、根っこを育てる指導を意識しております。また本園は「多様性」を大切にしているのも特徴で、外国籍の保護者は約1割いらっしゃいます。以前はブラジルの方が多かったのですが、現在はベトナムをはじめアジア系の方も通ってくださっています。国籍が多様化していくなか課題を感じるようになったのが、園からの連絡事項をいかに伝えるかということです。たとえばご相談に対する回答や、小学校就学に向けた案内、小学校の制度の説明など、連絡事項は多岐に渡ります。

実際には、どのように対応されていたのでしょうか。

森川氏 小学校の案内文を訳して渡したり、翻訳機を使って話したこともありました。文章を訳すのは相当な労力と時間がかかりますし、翻訳機を介しての会話も本当に伝わっているかが不安でした。また通訳の方をお願いして個別対応したこともありましたが、費用の問題が出てきます。このように試行錯誤しながら、何とか必要なことを伝えていました。



園だより

：約1年のテスト運用を経て本格導入へ

課題を感じるなか、MCCatalog+に出会われたわけですね。

森川氏 はい。静岡市の広報紙でMCCatalog+のことを見つけ、簡単に多言語化できるのがいいなと。「これを使えば、外国籍の人たちへスムーズに情報伝達ができるはず!」と直感しました。また本園はSDGsに取り組んでいますので、こうしたツールが普及すれば印刷費削減につながるだけでなく、持続可能な社会の実現にも貢献できると感じました。すぐに導入するつもりはなかったのですが、詳細が気になったためメールで連絡。すると早速返信があり、オンラインミーティングをおこなっていただきました。そのときの対応が好印象であっただけでなく、コンテンツ配信のテストや、配信までのサポートも提案いただいたことで、テスト運用を開始しました。

周りの先生方の反応はいかがだったのでしょうか。

岩ヶ谷氏 はっきり確認したわけではありませんが、導入当初は「本当に使う必要があるの?」という気持ちで内心あったかもしれません。でも本園が多様性を重んじていることもあり、反対意見やアレルギー反応といったことはなかったですね。

現在はテスト期間を終え、本稼働されていると伺いました。その決断に至った理由をお聞かせください。

森川氏 保護者の方々にCatalog Pocketを受け入れてもらえるかどうか、判断材料の1つでした。テスト運用中に「Catalog Pocketはどう?」と聞くと、「Good!!!」と笑顔を見せる人が多く、問題ないと感じられたのが大きかったですね。また園生活のしおり、園だより、保護者説明会の案内など使用量の多い紙を、しっかりデータに置き換えられるかも重要なポイントでした。実際に使ってみて、それが可能だと確信できたのもよかったです。

：園だよりの制作負荷を大幅に軽減

MCCatalog+を導入するにあたり、難しかったことはありますか。

岩ヶ谷氏 面白そうなツールだと感じたため心理的なハードルはなかったのですが、最初は操作方法をなかなか覚えられず苦労しました。でもメールで質問をすれば丁寧に対応していただけたのは有り難く、徐々に使いこなせるようになりました。

現在はどのような使い方をされているのでしょうか。

岩ヶ谷氏 1部20ページからなる、園だよりを配信するために使用しています。子どもたちの様子を伝えるコーナーや行事案内、今後の予定など内容はさまざまで、先生ごとに担当が決まっています。先生たちは原稿をワードで作成し、データを受け取った私はレイアウトして印刷。刷り上がった紙を揃えて糊付けし、ホッチキスで留めと、製本は数人の先生でおこないます。レイアウトには約1日、印刷には約2日、製本には約半日かかります。

すべて自前なのですね。かなりのご負担だと思います。

岩ヶ谷氏 そうですね。でもMCCatalog+を使用するようになってからは、ワードをPDFにして、取り込みすればレイアウトしてくれるので、負担が相当軽減されました。MCCatalog+による制作～製本までの作業時間は、1日もかからなくなっています。



Catalog Pocket案内チラシ

認定こども園みのり幼稚園
保育教諭 広報渉外活動リーダー
岩ヶ谷 千保子 氏

：スライドショーを訴求することで保護者に浸透

当初、課題に感じられていた多言語化にも、MCCatalog+は有効なのではないかと思います。

岩ヶ谷氏 ええ。日本語の原稿を瞬時に別の言語に変換できて、非常に便利です。自分たちで翻訳をしていた手間と時間を考えると、まるで別世界ですね。英語やポルトガル語はもちろん、中国語、ベトナム語、タイ語など、最大10言語に対応しているのもよく、いろいろな国籍の方をカバーできます。保護者160名、職員40名がいるなか、Catalog Pocketで園だよりを閲覧しているユーザ数は約100と、ほぼ半数の方が使用しています。またバックナンバー閲覧の履歴があるほか、文中の言葉を検索する「本文検索機能」を利用している方もいて、正直びっくりしています。

かなり浸透しているようですね。Catalog Pocketの存在を認知してもらうために、工夫されたことをお聞かせください。

森川氏 日本語版と外国語版のA4チラシをつくって配布したほか、園だよりに掲載して案内しました。それから口頭で案内する際にも気を配りました。Catalog Pocketの大きな魅力の1つが、スライドショーに写真を何枚も載せられること。いろいろな言語で読めるからCatalog Pocketを使ってくださいと言うのではなく、「スライドショーにはたくさんの写真をアップしますので、お子さんが載っているかもしれませんね」と伝えるようにしたんです。それが響いたようで、早速、使ってくださいの方は多かったですね。スライドショーがあることをアピールするのは、Catalog Pocketを浸透させる1つのポイントといえそうです。

